

プログラム

あいさつ 影山 太郎
(かげやま・たろう)

国立国語研究所所長

講演



狩俣 繁久
(かりまた・しげひさ)

琉球大学教授／国立国語研究所客員教授。琉球大学法文学部卒業。専門は琉球語学。



菊 秀史
(きく・ひでのり)

与論民俗村経営
(私設民俗資料館)



Thomas Pellard
(トマ・ペラルド)

日本学術振興会外国人特別研究員、京都大学.EHESS(社会科学高等研究院、フランス・パリ)大学院修了。博士(言語科学)。専門は記述言語学、歴史比較言語学



呉人 恵
(くれびと・めぐみ)

富山大学教授。東京外国語大学大学院外国語学研究所修了。博士(文学)。専門は言語学、コリヤーク語学。



木部 暢子
(きべ・のぶこ)

国立国語研究所教授。九州大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。専門は日本語学。

コーディネーター

パネルディスカッション 木部 暢子

[交通案内]

霞ヶ関 灘尾ホール

(東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル1F)
・地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分
・地下鉄千代田線「丸の内線」/日比谷線
「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分



1 琉球方言から考える
言語多様性と文化多様性の危機

2 「与論の言葉で話そう」
ーバイリンガル島を目指してー

3 消えてゆく小さな島のことば

4 辺境から発信する言語学
ーシベリアのコリヤーク語は今

5 文化庁委託事業
『危機的な状況にある言語・
方言の実態に関する調査研究』
中間報告

日時:平成22年12月18日(土) 13:00~17:00

場所:霞ヶ関 灘尾ホール

(東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル1F)

主催:大学共同利用機関法人人間文化研究機構

国立国語研究所

〔申込み方法〕

入場無料、事前申込み制。

定員300名(先着順)定員になり次第受付を締め切ります。

「第3回国際学術フォーラム参加希望」と明記の上、
お名前(ふりがな)、連絡先を下記まで御連絡ください。

Email:forum@ninjal.ac.jp FAX:042-540-4334

国立国語研究所ホームページ

(<http://www.ninjal.ac.jp/>)からもお申し込みができます。

※手話通訳をご希望の方は、申し込み時にお知らせ下さい。

国立国語研究所

第3回国際学術フォーラム

「日本の方言の多様性を守るために」

聴講無料
(要事前申込み)